



J A 長野厚生連安曇総合病院

# き ず な

第223号

発行所: 〒399-8695  
北安曇郡池田町池田3207-1  
TEL(0261)62-3166(代)  
J A 長野厚生連安曇総合病院 一會  
発行責任者: 院長 中川 真一  
編 集: きずな編集委員会  
<http://www.janis.or.jp/users/azumi-hp/>

## 日本医療機能評価機構の

## 認定を取得しました

機能評価受審対策委員会 金谷 洋



さる6月20日、安曇総合病院は念願の日本医療機能評価機構の認定取得を果しました。準備を開始して2年余りで県内27の認定病院に名を連ねることが出来ました。当院職員を始め御協力いただいた多くの皆様、この紙面をお借りして感謝申し上げます。有難うございました。

日本医療機能評価機構は厚生労働省や日本医師会、日本看護協会等、諸団体の出資により設立された財団法人で、全国医療機関の評価認定業務を行っています。

認定取得という一種の資格や格付のイメージを持たれるかもしれませんが、実は大いに違います。病院が認定取得に取り組み中で大きく進歩できるところに、本当の価値があります。

評価機構に申し込むと間もなく分厚い評価項目集が送られて来ます。これを読みながら自らを隈なく見直していくと、病院は自分の欠点や至らない点に気付くことになるのです。評価項目は、病院が今後の目標をしっかりと持っている

るか、患者さんの安全を考えているか、患者さんが快適に過ごせるように配慮しているか、質の高い診療を目指しているか、など多方面に及び、院内の全職種が対象になります。安曇総合病院もこの過程でたくさんの問題点が見つかり、改善に乗り出しました。

しかしこの改善作業を終えても、まだ認定は得られません。評価機構から派遣される担当者の訪問審査に合格しなければなりません。口頭で「しっかりとやっています」と説明するだけではダメで、全て証拠を示さないと認められません。当院は昨年6月に5人の担当を迎え、3日間

訪問審査を受けました。半年後に届いた結果報告書には「まだ改善の余地あり」として7項目が記されています。辛抱して7項目の改善

に取り組み、この度の認定取得に漕ぎつけた次第です。

評価機構が提示しているのは、これからの時代に必要とされ頼りにされる病院のあり方・水準です。評価内容も社会や医療の情勢に応じて改訂されており、今後とも日本の病院運営の拠り所になっていくものと思われま。認定の有効期間は5年で、5年経ちますとまた受審しなければなりません。

安曇総合病院には先日中川院長が述べられたように「安心・安全・快適な、日本を代表する病院を作ろう」という目標があります。目標に向いつつ、5年に1度当院を全国水準に照らしてみることが有意義であると考えます。

最後に、日本医療機能評価機構からのメッセージを引用して認定取得の御報告を終わらせていただきます。

「安曇総合病院が今回の受審を機に一層の向上を図られ、安曇野の豊かな自然の中で、心のかよった医療・福祉サービスを提供する総合病院として、ますます発展されることを祈念いたします！」

## 四季より

空は確実に高くなり、空気が澄み始める初秋。朝夕の草に宿る露が足に冷たく、気づけば蟬の声はもはやなし。替わって草むらから儂げな虫の声、この時期の大急ぎの季節の移ろいは、やはりここが信州であることを際立たせます。

▼関東を直撃した台風が夏の終わりを告げましたが、何かと天変地異が多い昨今です。

九月一日は関東大震災の追悼忌であることが今年に心に残りもします。▼秋のころ

といえば、万事につけて物寂しい情感をさします。本格的な実りの季節を迎える前、私たちの感性も澄み渡ってほし

いもの。「吹く風に深きたのみの空しくは秋の心を浅しと思はむ(後撰)」「秋草の野にある心活けられし(稲畑汀子)▼秋の夜を冬よりむしろ長夜と感ずるのも日本人の季節感でしょう。十六夜、立待月、居待月と月まつ一夜一やに名が付くように。「立待や森の穂を出す星一つ(佐藤念腹)」「妻も酒少ししたしなみ居待月(川田長邦)」

### 第3回安曇総合病院・北アルプス広域消防懇話会を開催して

#### 救急診療委員会

7月14日午後6時から、病院会議室で北アルプス広域消防と病院の懇話会が開催され、広域消防から13人、病院の医師・看護師など職員49人の参加がありました。この懇話会は、日頃救急医療に携わる病院と地域の消防スタッフが、一同に会し日頃の活動状況について情報交換しあい、迅速安全での確な救急医療を提供するため、相互理解と親睦を目的に毎年開かれ、今回で3回目の開催となりました。この会は、院内の救急診療委員会（松本正紀委員長）が企画し、今回は病院防災マニユアルの作成に取り組み一環として、昨年10月に起きた新潟中越地震で医療支援に駆けつけた佐久総合病院医療支援チームの地域ケア科医長北澤彰浩先生から支援活動の体験を講演していただきました。スライドを用いて現場の状況を詳しく説明いただき、被災地の病院がどのような状況になっ

ていたか、医療支援として何が必要かを学ぶことができませんでした。被災地の病院では、入院患者さんの避難・移送や地震による救急患者さんが激増する中で、建物や機器の損傷そして病院スタッフが被災者であることから病院機能が著しく低下し、医療物資やスタッフの支援が急務であること。道路の被害状況によつてはその支援もままならないことも予想されるため、日頃から被害を最小限に食い止める工夫と対策が必要なことを痛感しました。

つづいて、広域消防の救急救命士栗林宏治さんからは、救急患者を病院に搬送するまでの処置について実演を交えて紹介されました。的確かつスピーディーに行われる傷病者の観察と対処に、病院スタッフは息を詰めて見入っていました。「私達も見習わなければならぬね」と感嘆の声も聞かれました。

講演の後は、ノンアルコールで日頃の活動など話題にしながら懇談し、的確な救急医療業務の遂行を誓い合いました。

### グリーンワークを 通じて感じたこと

地域福祉科 山口 大輔

今年の6月からボランティア委員会の呼びかけで、月に1回院外のゴミ拾いや草取り、花壇の整備をするグリーンワーク（院外清掃）が始まりました。毎回多くの職員の方々に参加していただき、駐車場等のゴミも減り、花壇もきれいに整備されています。患者さんや家族の方、職員も含め多くの方が利用している場所であるからこそ心地よい環境というものが大切であると感じています。

前回のグリーンワークの時に駐輪場の前の花壇に朝顔を植えました。ちゃんと育ってくれるのか心配していましたが、やっと小さな花々が咲き始めました。朝顔はヨーロッパでは「勇氣とエネルギーの象徴」なのだそうです。毎朝朝顔を眺めながらの通勤が自分の日課になっています。この小さな朝顔を見守ってあげてください。最後になりましたが、今後もグリーンワークに御協力よろしく願います。

9月7日

### 『養老孟司』先生をお迎え して認知症を考える講演会

9月7日水曜日、安曇総合病院老人性認知症疾患センター

と池田町等主催で『認知症を考える講演会』を開催いたします。今回は、解剖学者であり、ベストセラー「バカの壁」でも著名な「養老孟司」先生をお迎えできる運びとなりました。

平成2年から続いているこの講演会、県内外から著名な講師をお迎えするとともに、病院スタッフ扮するズブの素人劇団による寸劇も恒例となり、好評いただいております。

高齢化社会の進行とともに誰にでも起こりうる病気となった認知症。この機会に一緒に考えて見ませんか。

多くの方の御来場をお待ちしています。

☆日時 9月7日(水)  
13時30分～開演

☆場所 池田町高瀬中学校  
体育館

☆お問い合わせ先  
安曇総合病院医療相談室

☎0261(62)3166(代)

### 栄養療法勉強会 のお知らせ

栄養支援班 金谷 洋

近年、栄養療法が注目されています。栄養が命の源であり、笑顔と活力の素であることは言うまでもありませんが、実は栄養が病気やケガの回復に大きく役立っていることが医学上明らかになりました。当院もこの春に栄養支援班（NST）を結成し、患者さんの栄養改善に努め、はりきっています。

栄養支援班は10月から毎月1回、夕方に栄養療法勉強会を開きます。味の素ファルマ㈱に御協力いただき講師をお招きして、わかりやすさをモットーに40分位勉強し、気楽に質問できる会を目指しております。当院職員を問わず、興味をお持ちの方はどなたも是非ご参加ください。詳細な日程は当院ホームページおよび院内掲示で近日お知らせ致します。

# 理学療法科の紹介

理学療法科 大江 厚

最近ではリハビリテーションという言葉も随分定着してきましたが、その言葉の意味は、「心身に障害を持つものに人間的復権を理念として、障害者の能力を最大限に発揮させ、その自立を促すために行われる専門的技術のことを言う（厚生省社会援護局、児童家庭局、1944）」と定義されています。つまり、患者さんの日常生活活動能力や生活の質の向上を目的としています。当院では、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーをはじめ様々な専門スタッフがそれぞれの専門性を活かし、その目的を達成



するためのチーム医療が行われます。その中で、私達理学療法士の役割は、身体の障害（痛み・運動機能障害・基本動作能力や歩行能力の低下など）に対し、運動療法・物理療法・徒手療法・歩行や日常生活活動練習などを行い、動作能力を最大限に発揮させることにあります。病院のリハビリ室で、温めたり、電気を流したり、固くなった関節を動かしたり、筋力トレーニングをしたり、歩く練習をしたりといった方がイメージしやすいでしょうか。その対象は、病気や事故で障害を持った方・手術後の早期離床を必要とする方、また慢性的な関節痛の方など様々です。当院の理学療法室は、これらのリハビリテーションを行うのに十分な広さと、充実した物理療法機器を備え、現在9人の理学療法士が外来リハビリと入院リハビリを担当しています。今後も他の専門スタッフと協力し、患者さんの生活の質の向上につながるような、より幅広く質の高い理学療法を提供していければと思います。

# 池田ふるさと祭り を終えて

青年部長 原 規浩

7月30日に青年部恒例行事であります池田ふるさと祭りに参加してきました。今年度は前もって踊りの練習を行ない臨みました。祭りには約20人の参加があり、心配された天候にも恵まれ大いに盛り上がりを見せました。

皆で振り付けを考え、練習を行い、祭りに参加することで青年部員同士の交流、また安曇総合病院の枠を越えて池田の町民の皆様との交流を大いに深めたものと思われまふ。今後このような機会を設けて、青年部活動の幅を広げていきたいと思えます。参加して下さった皆様、また応援・協力して下さった皆様どうもありがとうございました。



# トピックス・アズミ

▼8月1日、中学生職場見学（信大附属松本中学校）が行われました。

▼8月7日、研修医のための後期研修合同セミナーが大阪で行われ、中川院長、谷川副院長、村田副院長らが出席しました。

▼8月18日、長野にて脳ドック研究会が行われ、中川院長が出席しました。

▼8月25・26日、中学生職場体験（大町第一中学校）が行われました。

# 病院祭のお知らせ

第13回病院祭を10月16日に行います。

テーマは「優しさ・安心そして暖かさ」安曇野ホスピタリティです。

今年も多数イベントを考えておりますので、ご家族、ご近所お誘い合わせておでかけください。

# 看護師募集

来春卒業予定の看護師を募集しています。（見学説明会はいつでも可）問い合わせは、看護部長室 薄井まで。

# ボランティアクーナー

残暑厳しい中にも時折、秋を感じさせる風が吹く今日この頃です。

夏の盛り、暑い中で草刈りをして下さった方もいらつしゃいますし、病棟で使う布を切らすことなく用意して下さる方々、また案内をして下さる方々のご協力、いつも感謝しております。

ボランティア委員でもまたごみ拾いなど企画していますので職員皆さん、ご協力お願い致します。

また、布切り用の布や病院祭のバザーに出す品も募集しておりますので併せて宜しくお願い致します。

# 編集後記

ススキが穂を出し、コスモスが風にゆれる季節となりました。

今年の水稲の生育は、天候にも恵まれて順調とのこと。頭を垂れはじめた稲穂の広がる田園風景が、これから少しずつ、黄金色に染まっています。

いよいよ、みのりの秋のはじまりです。

安曇総合病院理念

私たちは、皆さまに満足いただける親切・安全な保健・医療・福祉サービスの提供につとめます。  
 私たちは、事業活動を通じてJAGグループや地域の関係機関と連携し豊かな地域づくりに参画します。  
 私たちは、皆さまとともに病気の予防と早期発見につとめ地域の健康増進に貢献します。  
 私たちは、安定した運営基盤のもとに医療内容の充実と療養環境の改善につとめ、皆さまに信頼される病院づくりをめざします。

基本方針

- ・皆さまが満足できる適切で安全な医療の提供につとめる。
- ・皆さまの権利とプライバシーを尊重する。
- ・皆さまへ十分な説明をし、理解と同意をいただくことを全ての医療活動の前提とする。
- ・近隣医療・福祉施設と連携し、地域医療・福祉の充実につとめる。
- ・地域のニーズに即応できる救急医療体制の整備充実につとめる。
- ・在宅医療支援活動の増進につとめる。
- ・保健予防活動に積極的に取り組み、地域の皆さまの健康増進に貢献する。
- ・病院職員の健康・福祉の増進につとめる。
- ・適切で明確な病院運営方針を策定し、その実現につとめる。
- ・厚生連の諸活動やその他の文化・研究活動に積極的に参加する。

《 診 療 案 内 》

平成17年 9月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科(一般)初診	林 田	川 上	井 能	東 方	早 野	川 上(第1.5週) 林 田(第3週)
	内科(一般)再診 (予約制)	川井東津島(第3週)	中川(9時30分～) 井 林	早野方上(午後) 東 川	中川(9時30分～) 川 林 田(午後)	中川(9時30分～) 井 林 田	早 野
	循環器科	東 方	池田(信大)(午前)	東 方	東 方	渡 辺(午前)	
	呼吸器科	井 能	井 能	井 能		井 能	信 大
	神経内科	中川(10時30分～)	中 川(11時～)	中 川(10時30分～)	中 川(11時～)	中 川(10時30分～)	林 田(第3週)
	血液内科	川 上(午前)	川 上(午前)	川 上(午後)	川 上(午前)	川 上(午前)	川 上(第1.5週)
専門外来				一 條(肝臓) 洞 (腎臓)		高梨(第1週・3週) (リウマチ・膠原病)	
精神科	初 診	平中 林村	鬼 頭(午前)	竹 内	村 田	鬼 頭(午前) 荻 原	
	心療内科再診 (予約制)	村鬼 田頭	村 田	鬼 頭	平 林	村鬼 田頭	鬼 頭
	精神科再診 (予約制)	村鬼中 田頭村	村平 田林	竹鬼 内頭	平 林	平村 荻 林 田 原	鬼 頭
	夜間診療(予約制)			村田・平林・鬼頭			
小児科	午前	信 大	保 刈(原) (受付11時まで)	原 刈 (保 刈)	保 刈 (原)	原 又は 保刈	信 大 (原又は保刈)
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)	内分泌外来(第3週) (予 約)	慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外科	一般外来	金 谷	佐 藤	佐 藤	金 谷	金 谷	佐 藤
	呼吸器外科	花 岡(午後)			花 岡		花 岡
	形成外科 (受付15時30分まで)				川村(13時から診療)		
乳腺内分泌外科	望月(乳腺) (診療日:5・26日)		藤森(乳腺) (初診受付10時まで)			信 大(甲状腺)	
整形外科 (受付10時30分まで)	最向 上山 中 谷	谷松 川 高 原 橋	最向 上山	谷向 川 松 山 原	谷 川 最 上	谷川・最上・向山・松原 (輪番で担当)	
皮膚科	芦 田(信大)		河 内(信大)		太田(由)(診療日:9日)	太 田 (由)	
泌尿器科			石 塚(信大)				
産婦人科	新 井 信 大	新 井	新 井	新 井	信 大	新 井	
眼科	太 田(い)	太 田(い)	検 査・手 術 (外 来 休 診)	太 田(い) (午後コンタクトレンズ要予約)	太 田(い) (受付10時まで)	信 大	
耳鼻咽喉科		信 大 (14時から診療)			信 大 (14時から診療)	信 大 (受付11時まで)	
放射線科	高山(曾根)	曾 根	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)	
麻酔科 (受付11時まで)	松 本	松 本	松 本	松 本	松 本	松 本	
リハビリテーション科	緒 方	緒 方	緒 方	緒 方	緒 方	緒 方	
歯科口腔外科	中 寫	中 寫 信 大(午後)	中 寫 信 大(午後)	中 寫	中 寫	中 寫	

☆第2・4土曜日(9月10日・24日)、19日・23日(祝日)は休診です。